

JAXA主催の体験型学習プログラム

第17回 君が作る宇宙ミッション

全国の高校生20名に選抜!



この度、国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構（JAXA）が開催する体験学習プログラム「第17回 君が作る宇宙ミッション」へ、本校5年生の塩野谷樹さんが参加することが決定しました。

このプログラムは全国の高校生を対象とし、事前に出題された課題に対して自分なりの課題解決策を提示し、その内容が審査され参加者が選抜されます。毎年、全国から多数の応募があるなかで、選抜されるのはわずか20名程度という、狭き門です。塩野谷さん、おめでとうございます！

■君が作る宇宙ミッションとは？（JAXAホームページより抜粋）

宇宙科学の最先端の研究が行われている現場で、若手研究者のサポートを得て、参加者達はチームを組み、協力しながら宇宙計画（ミッション）を作り上げます。宇宙科学の研究者が普段行っている「自ら考え、自ら決定し、自ら作業する」という仕事を本格的に体験することができます。

対象	高校生
定員	約20名
期間・日程	4泊5日 7月30日（月）～8月3日（金）
場所	JAXA相模原キャンパス（神奈川県相模原市）

ちなみに、今年度の応募課題は以下のような内容でした。

[設問]

木星の衛星Xの表面に人工的だと思われる建造物が見つかり、知的生命体がいる可能性が示唆されています。私たちは将来、この衛星Xに宇宙飛行士を派遣して、調査することを考えています。この設定を踏まえ、以下に教えてください。

- (1) 将来、宇宙飛行士を衛星Xに派遣する前に、どのようなことを調べておくべきだと思いますか？調査すべき項目を3～5個あげてください。
- (2) (1)であげた項目について、どのような順番で調査すべきか、理由を明確にして、説明してください。
- (3) (1)であげた項目のうち最も重要だと思われるものについて、それに必要となる技術を説明してください。また、その実現可能性についても説明してください。